

モモせん孔細菌病は11月上旬でも枝感染する

福島県農業総合センター 果樹研究所病害虫科

1 部門名

果樹－モモ－病害虫防除

2 担当者

柳沼久美子・佐野真知子

3 要旨

近年、モモの落葉時期は遅くなる傾向にあり、モモせん孔細菌病の秋期感染の時期が従来よりも拡大している可能性がある。そこで、秋期に摘葉時期と菌の接種時期を変えた処理を行い、翌年の春型枝病斑の発生を調査したところ、秋期の枝への感染は9月上旬から11月上旬まで成立し、これまでの知見よりも遅い。

- (1) 平成24年および25年の秋期に摘葉処理時期を変えて噴霧接種を行った。平成24年は9月上旬から10月下旬まで接種したところ、いずれの時期でも枝への感染がみられた。平成25年は9月下旬から11月上旬まで接種し、いずれの時期でも枝への感染がみられた(表1)。
- (2) 感染は摘葉処理の翌日に接種した場合でも成立し、4日前に摘葉した場合は成立しなかった(表1)。
- (3) 以上のことから、秋期の枝への感染は9月上旬から11月上旬まで成立し、これまでの知見よりも遅い時期まで感染が起こることが判明した。また、本病の感染は摘葉直後から1日後まで成立することが確認できた。

表1 モモせん孔細菌病の摘葉および接種時期別春型枝病斑の発病枝率

調査年	摘葉 処理時期	接種時期別発病枝率(%)				
		9月上旬	9月下旬	10月上旬	10月下旬	11月上旬
2012-	接種4日前	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	接種1日前	25.0	5.3	5.3	15.0	—
	接種直前	0.0	0.0	5.0	0.0	—
	無摘葉	0.0	0.0	0.0	5.0	—
2013-	接種1日前	—	0.0	0.0	5.0	0.0
	2014年 接種直前	—	25.0	35.0	15.0	60.0

※供試品種:「あかつき」

※時期別に20本の枝に接種を実施

※接種日 2013年調査:2012/9/7、9/20、10/5、10/17

2014年調査:2013/9/18、10/4、10/25、11/7

※2013年は4/23～5/30、2014年は4/14～6/6まで調査した累計値

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成25年度～26年度
- (2) 研究課題名 果樹病害虫の防除法改善に関する試験(難防除病害虫の防除法確立試験)
- (3) 参考となる成果の区分 (発展見込)

5 主な参考文献・資料